

R2教職員コメント

番号	内容	改善案
問1	幼児児童生徒が主体的に学習に取り組むように、実態や学習内容に応じて教材や指導方法の工夫・改善を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・教員による差がないように研鑽し合う
問2	体験活動は事前の指導計画や事後学習を充実させ、その後の幼児児童生徒の生活や学習にいかされている。	<ul style="list-style-type: none"> ・事前事後学習の時間を確保する ・中心になる教員による差がないように研鑽し合う
問3	人や社会とかかわる活動を通じて、思いやりの心や責任感、自立心を養っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・社会と関わるために挑戦できることを考える
問4	教職員としての専門性と実践的指導力を向上させるために積極的に研修を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・コンパクトでスムーズに行える研修にする ・本当に必要な研修にする
問7	計画的に交流及び共同学習を推進している。	<ul style="list-style-type: none"> ・中長期的な計画性のあるものにする ・神戸市盲との交流を増やす ・近畿の盲学校とオンライン授業をしてはどうか ・校内の学部間交流を増やす
問8	施設設備の安全を保ち、整理整頓をしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・さらなる整理整頓を心がける ・食堂の座席の見直し（日差しを避けた席の確保） ・クーラー設置とトイレ改修が進んで良かった ・雨漏りへの対策
問9	災害に対する正しい知識と技能を身につけ、適切に判断して行動できる力を養っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・防災学習の時間を増やす ・日常的な災害の備えをする
問10	様々な危機（災害・いじめ・不審者等）を想定した対策を進めている。	<ul style="list-style-type: none"> ・不審者対応を充実させる ・全員が危機感を持つことが大切
問11	学校ホームページ、学校ブログ、「希望の花」、学部(学年)通信等は、保護者への情報提供に役立ち、広報としても機能している。	<ul style="list-style-type: none"> ・さらなるブログの更新で情報発信をする
問13	個別の指導計画は、個々の学習目標や指導の手立て、指導の経過や評価をわかりやすく記述し、保護者に説明している。	<ul style="list-style-type: none"> ・書き方の研修が必要 ・各学部で様式を変更した後は学校の教務全体で情報共有する ・評価の観点を考えすぎて文章量のわりに内容が分かりづらいのではないかな
問15	ICT機器（パソコンやタブレット等）の活用を目指し、段階的な指導を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の免許を持つ教員を増やす ・各学部で到達目標を作る
問16	福祉、労働、大学等の関係機関と連携を図り、進路に関する情報提供や指導助言を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・大学との連携を考える
問17	教育・医療・福祉等と連携を図り、地域の視覚障害児者への支援相談を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・支援相談現場を見学して現状把握や視覚障害支援のさらなる理解啓発に繋げる